

始めよう地球に優しい暮らし方

佐世保の美しい海や豊かな緑などの恵まれた自然環境は、市民共通の財産です。この自然環境を守り、未来の人々へ引き継ぐことは、わたしたちの最大の使命ともいえます。今回は、地球温暖化防止やごみ減量化の取り組みなどを紹介します。



九十九島と市街地

すばらしい佐世保の環境を将来へ引き継ぐために

本市は、第二次世界大戦後は米海軍や自衛隊の基地と共存しながら、わが国の経済成長とともに港湾産業都市として栄えてきました。このような背景のもと、本市においても都市化が進み、わたしたちの暮らしや事業活動などが、環境への負荷を増大させてきました。

市では、昨年3月に制定した「市環境基本条例」に基づき、環境保全に関する施策を総合的・計画的に推進するとともに、自然と人が共生しながら、恵み豊かな環境を将来にわたって維持していくことを目指しています。

地球規模の問題を個人レベルの問題へ

18世紀の産業革命以降、科学技術の急速な進展は、人類に著しい経済発展と生活の質の向上をもたらしま



したが、一方で大量生産、大量消費、大量廃棄という社会経済システムは、地球規模の環境問題を引き起こしました。

現在、地球環境は地球温暖化をはじめとして、酸性雨、熱帯雨林の減少、砂漠化、野生生物の種の減少など多くの問題を抱えています。

市では、市民の皆さんに、地球温暖化対策が人類の大きな課題であり、地域や一人一人の取り組みが地球規模の取り組みにつながることを十分理解してもらうために、「市地球温暖化対策地域推進計画」を策定しました。また、市町村合併に伴い、一般廃棄物処理基本計画を見直して、本年度から平成23年度までのごみ減量化や生活排水対策の計画を定めました。

これらの計画を推進していくためには、市民と行政が協働して取り組むことが必要です。

市民の皆さんに求められる主な取り組み

市地球温暖化対策地域推進計画では、皆さんに求められる取り組みとして次のことなどを掲げています。

- 家庭におけるエネルギーの節減
- 暖房は20℃以下、冷房は28℃以上に設定する
- 家族ができるだけ同じ部屋で過ごし、使わない部屋の照明などはこまめに消す
- エアコンや掃除機などのフィルターをこまめに清掃する

- 自動車利用の見直し
- 自家用車の利用を控え、できるだけ公共交通機関を利用する
- 駐車や長時間停車するときはエンジンを切る
- 低公害車の購入

ごみの減量化・リサイクルの推進
森林保全活動への参画

環境を考えた買い物の実施
環境や省資源に配慮した製品を選択して購入

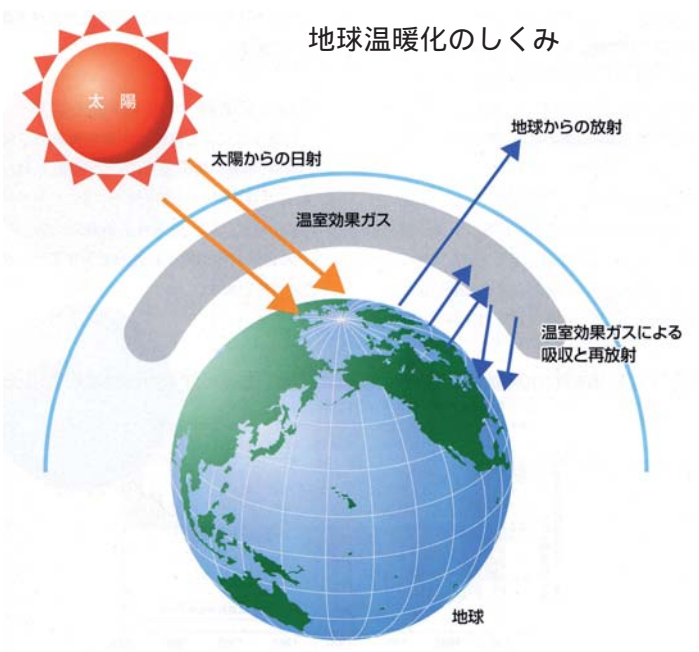
【お尋ね】市環境保全課
TEL 0956・26・1787

地球温暖化防止の取り組み

わたしたちが地球温暖化防止に取り組むには、まず地球温暖化を知ることが大切です。そして、身近に取り組めることを実行していきましょう。

なぜ、地球が温暖化しているの？

地球の気温は、太陽からの光と地球から宇宙に放出される熱のバランスで、安定した状態とされる平均気温約15℃を保ってきました。

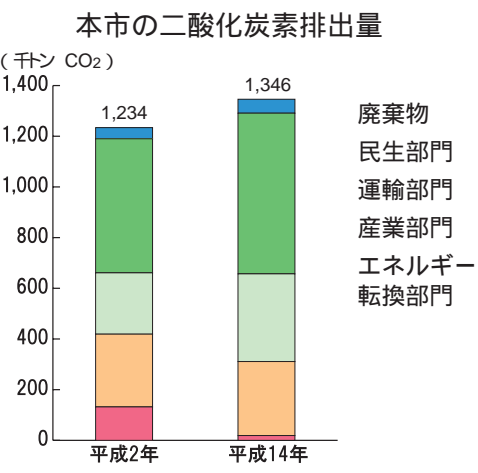


地球温暖化のしくみ

しかし、産業革命以降、石炭や石油などの化石燃料を大量に使用したことによって、二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度が上昇したため、温室効果ガスが地球から放射される熱を吸収し、地球へ再放射する量が増え、温暖化が促進されたのです。

【地球温暖化で考えられる影響】

- 気候が変化し、台風などの熱帯性低気圧による被害が多くなる
- 南極や北極の海氷減少により海面が上昇し、国土の水没や高潮の危険が増大する
- 農水産物の減少や病害虫などの被害により、**飢饉**が発生して食糧危機を招く
- 熱帯性伝染病の発生範囲が広がる



平成2年と平成14年を比べると、二酸化炭素の排出量は約9%増加しています。増加の原因は、民生部門では家電製品や給湯、暖房機器等の使用の増加、運輸部門では乗用車の保有台数の増加などが挙げられます。

本市への影響

- 昭和36(1961)年以降の40年間で、年平均気温が約1℃上昇しました。
- 平成16年の夏は、真夏日(最高気温が30℃以上の日)が38日間連続し、連続真夏日が過去最高でした。
- 昨年9月の平均気温は26.2℃で、観測史上9月では過去最高でした。
- 桜の開花時期が早まり、カエデの紅葉時期が遅れる傾向にあります。

本市の二酸化炭素の排出状況